

ゆう・あいプラン2021

～亀岡市男女共同参画計画～

前期実施計画

2024(令和6)年度実施状況報告

○評価指標

- A 計画どおり達成できた
- B 実施したが改善が必要
- C 実施しなかった
- 評価なし（当該年度予定なし）

生涯学習部人権啓発課

基 本 目 標	重 点 プ ラ ン	施 策	ページ
1 男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり	1 男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進	1 性別役割分担・差別意識に基づいた制度や慣行の見直し	1
		2 制度・慣行の見直しに向けた啓発、情報提供	1～2
		3 男女共同参画による行政運営のための職員の意識改革	2
		4 男女共同参画社会づくりに向けた人権学習の推進	3
		5 男女共同参画の視点に立った市の刊行物発行の推進	4
		6 リテラシーの育成	4
	2 子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進	7 保育所(園)・幼稚園における男女共同参画教育の推進	5
		8 学校における男女共同参画教育の推進	6
2 誰もが働きやすく活躍できる環境づくり 【女性活躍推進計画】	3 政策・方針決定の場への女性の参画の促進	9 市の審議会等への女性の積極的登用	7
		10 市の女性職員の職域拡大と管理職への積極的登用	7
		11 学校運営体制における男女共同参画の推進	7
		12 企業・各種団体・地域活動における女性の意思決定の場への参画促進	8
		13 ポジティブ・アクションの推進	9
	4 就労の場における男女共同参画の推進	14 雇用の場における男女共同参画の促進	9
		15 農林業・自営業における男女共同参画の推進	9
		16 多様な就業機会の確保に向けた支援	10
		17 能力発揮のための学習機会の提供・情報提供	11
	5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現できる環境づくり	18 男女が子育て・介護を担える環境づくり	11
		19 総合的な子育て支援	12
		20 男女がともに豊かな高齢期をおくる条件整備	12
		21 家庭における男女共同参画の啓発	13
	6 ハラスメント防止に向けた取組の実施	22 職場におけるハラスメント防止対策の推進	13
3 あらゆる差別のない地域づくり	7 男女の視点を取り入れた市民活動・地域防災活動の推進	23 地域活動における男女共同参画の推進と市民団体・地域団体の活動への支援	14
		24 地域社会を巻き込んだ男女共同参画の周知と普及、啓発の強化	14
		25 男女双方の視点等に配慮した緊急時対応	14
		26 女性グループ・ネットワークづくりへの支援	15
	8 多様な立場の困難を抱えた人々への支援	27 社会的に不利な状況にある人々への支援	16
		28 国際交流事業における男女共同参画の推進	17
	9 生涯にわたる健康の保持と促進	29 ライフステージに応じた健康づくりへの支援	17
		30 女性の健康を脅かす問題についての対策の推進	18
	10 LGBTQ+への理解促進と支援	31 LGBTQ+の人への社会的理解の促進に向けた啓発	19
4 あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくり 【DV対策基本計画】	11 暴力に気づき、暴力をふるわない、許さない意識づくり	32 女性に対する暴力を根絶するための基盤づくり	20
		33 配偶者等からの暴力への対策の推進	21
	12 DV被害者への相談や支援の強化	34 相談体制の充実と連携の強化	22
5 市民と行政の協働による男女共同参画の推進	13 男女共同参画の実効性の確保	35 庁内連携による計画の推進	23
		36 苦情処理のためのシステムづくり	23
		37 計画の進行管理	23
	14 男女共同参画事業の周知	38 男女共同参画条例の周知	24
		39 市民との協働による男女共同参画の推進	24

2024(令和6年)年度実施状況報告

基本目標	1	男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	1	男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進
施策	1	性別役割分担・差別意識に基づいた制度や慣行の見直し

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
1 男女共同参画意識調査	「男は仕事、女は家庭のことを主に担う」という考え方に、同感しない市民の割合	60.0%	75.3%	男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。	1,034	B	本意識調査の結果を踏まえ、男女の固定的な役割分担意識の変革を促すため、啓発及びゆう・あいプラン2021後期計画の策定に向け活用する。	人権啓発課
	社会全体の中で男女の地位は平等になっていると思う市民の割合	30.0%	23.2%					

基本目標	1	男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	1	男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進
施策	2	制度・慣行の見直しに向けた啓発、情報提供

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
2 市広報媒体を通じた啓発・情報提供	広報紙、ホームページ、SNS等の広報媒体において特集記事掲載	年1回以上	年2回	男女共同参画にかかわる啓発事業等について、広報紙、ホームページ、SNS等において特集記事、イベント告知記事等を掲載した。	-	A	すべての広報媒体の表現において、ジェンダーに敏感な視点での文章作成に取り組む。男女共同参画に関するイベント等の告知を行い、市民への参加啓発を行う。	広報プロモーション課
	イベント告知記事等を掲載	年1回以上	年9回					
3 情報紙「ゆう・あいネット」の発行	「ゆう・あいネット」の発行	年2回	年2回	○年2回(vol.50・51)各31,900部発行し、全戸配布とHP掲載を行った。 ○市民公募の編集スタッフ3名との協働により編集し、結婚やカミングアウトをテーマに身近にあるジェンダー課題を取り上げた。 ○情報誌を通じて男女共同参画意識に関する意見募集を行った。	581	A	社会情勢を捉えながらいろんなテーマを取り上げ、さらに男女共同参画の意識を啓発する内容を掲載していく。	人権啓発課

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
4 関連図書・資料の収集と提供	男女共同参画に関する図書の購入冊数	年25冊	年20冊	男女共同参画のテーマの図書展示及び目録作成を行い、図書館内で配布した。また、男女共同参画などに関する最新の本を市民に提供するために収集した。	0	B	男女共同参画に関する本の購入は継続し図書館内の展示も継続の予定。おはなし会については「おはなし会」に協力いただいているボランティアに男女共同参画に関する内容で読み聞かせを依頼する。	図書館
	男女共同参画に関する図書の展示の実施回数	年2回	年2回					
	男女共同参画やジェンダーを意識したおはなし会の実施回数	年1回	年0回					
5 啓発ビデオの貸出、情報提供	-	-	貸出数32件	人権教育教材の貸出等を通じて、性別にかかわらず、その個性と能力が十分発揮でき、多様な生き方ができる社会を目指して人権意識の向上に努めた。	-	A	引き続き、広報に努め人権教育・学習活動を推進する。	社会教育課

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり

重点プラン 1 男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進

施策 3 男女共同参画による行政運営のための職員の意識改革

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
6 市職員の研修の充実	男女共同参画にかかる研修の実施回数	年1回以上	年1回	人権研修の中で男女共同参画にかかる研修を実施した。(主査昇格3年目職員等18人)	-	A	市職員としての責任や役割の再認識を徹底し、ジェンダーをはじめとする人権意識の一層の向上を図る。	人事課

基本目標	1	男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	1	男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進
施策	4	男女共同参画意識づくりに向けた人権学習の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
7 ゆう・あいセミナーの開催	ゆう・あいセミナーの開催回数	年2回以上	年3回	○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマにイクボス講座を開催した。 ○DVをテーマにDV防止啓発講座を開催した。 ○スマートフォンを使った動画作成をテーマにスキルアップセミナーを開催した。	192	A	多くの市民に参加してもらえよう、世間で話題になっている身近なテーマで講座を実施するとともに、広く情報が行き渡るよう広報を工夫する。	人権啓発課
8 生涯学習ゆう・あい賞顕彰制度の実施	-	-	隔年実施のため該当なし	一人ひとりが互いに認め合い尊重し合う生涯学習のまちづくりを進め、男女共同参画社会の発展に大きく寄与している個人または団体を表彰する。	-	-	隔年で継続して実施する。	市民力推進課
施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
9 人権教育講座の開催	-	-	年4回	性別にかかわらず誰もが自分らしく生きることができる社会を目指し、人権講座を開催し、自分自身の生活と関わった「気づき」と「行動」につながるような講座を開催した。	729	A	継続して男女共同参画の視点を取り入れた講座を開催する。	社会教育課
10 出会い・発見・共生 人権を考える亀岡市女性集会の開催	-	-	中止	同和問題、女性、子ども、高齢者、障がいのある人など様々な人権問題への理解と認識を深め、「人権尊重」のまちづくりを目指す集会を開催する。	0	-	事業の開催やあり方を含めて検討中である。	社会教育課

基本目標	1 男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	1 男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進
施策	5 男女共同参画の視点に立った市の刊行物発行の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
11 市の広報媒体におけるジェンダーに敏感な視点での情報発信	広報広聴主任に対する周知回数	年1回	年1回	本市の広報媒体で発信する内容がジェンダーに敏感な視点に立ったものになるようにする。	-	A	広報媒体において、ジェンダーに敏感な視点で表現されていることの確認を徹底する。広報広聴主任会議等で周知し各課の共通認識とする。	広報プロモーション課
12 ジェンダーに敏感な視点による市の公文書の点検	文書取扱主任に対する周知回数	年1回	年1回	公文書作成において、ジェンダーに敏感な視点で適切な表現に努めるため、文書取扱主任会議を通じて職員への周知を図った。	0	A	引き続き文書取扱主任会議で周知する。	総務課

基本目標	1 男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	1 男女共同参画意識づくりの推進、人権学習の推進
施策	6 リテラシーの育成

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
13 法令等の理解促進（リーガルリテラシー）	リーガルリテラシーについて情報提供を行う回数	年1回	年2回	ゆう・あいフォーラム、男女共同参画週間において、男女共同参画に関連深い法律等のパンフレット等の配布やパネル展示を行い、市民に周知を図った。	-	A	ゆう・あいフォーラム、男女共同参画週間を通じての情報提供を継続して実施する。	人権啓発課
施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
14 メディアを主体的に読み解く力（メディア・リテラシー）に関する学習事業	広報媒体において情報提供を行う回数	年1回	年2回	メディアで注目された話題を情報紙で取り上げ、男女共同参画の視点で読み解き活用できるよう情報提供を行った。	-	A	情報紙を通じて、注目されている話題を取り上げ、継続的に情報提供を実施する。	人権啓発課

基本目標	1 男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	2 子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進
施策	7 保育所（園）・幼稚園における男女共同参画教育の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 男女共同参画の視点に立った保育の実践研究事業	保育所（園）における男女共同参画の内容を含む研修の実施回数	年1回以上	年21回	○年間の計画の中で男女共同参画の推進に向けた人権保育・障がい児保育等の各研修会を実施した。 ○性別にかかわらずない保育活動を推進する。 ○男女共同参画の視点にたって教材・絵本を点検した。	545	A	各研修会を引き続き実施し、人権保育を推進する。	保育課
2 幼稚園における男女共同参画の視点に立った教育の推進	幼稚園における男女共同参画の内容を含む研修の実施回数	年1回以上	年5回	○園児一人ひとりの基本的人権の尊重と男女共同参画に視点を置き、園生活の中で道徳性やルールが身に付けられるよう、幼児教育を推進した。 ○教職員の意識向上が図れるよう研修を実施した。	-	A	亀岡市立幼稚園のこども園化に伴い、他の保育所等と同様に男女共同参画の視点に立った保育を推進する。	保育課

基本目標	1	男女共同参画社会の実現に向けての意識改革とシステムづくり
重点プラン	2	子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進
施策	8	学校における男女共同参画教育の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
3 学校における男女共同参画の視点に立った教育の推進	-	-	-	○児童生徒が、各教科や総合的な学習の時間の中で、いのちの大切さ、個性の尊重や相互理解などについての学習を進めた。また、教職員の指導方法の工夫・改善に向けた研究活動の取り組みを支援した。 ○教職員研修の充実 ○自立と共生に向け、性別にとらわれない教育活動の推進	333	A	継続して実施する。	学校教育課
4 心身の健康と安全に関わる教育の充実	-	-	-	○学校教育の中で発達段階に応じ、喫煙・飲酒についての健康被害やHIV／エイズ、性感染症、薬物乱用の有害性などに関する正確な知識・情報の提供を行った。また、健康な身体づくりを支援できる取り組みを進めた。さらに、食に関する正しい知識の普及啓発を図るため、食育の推進に努めた。 ○発達段階に応じた喫煙・薬物乱用防止及び性教育等の実施 ○収穫や料理など体験を通じた食育の普及啓発	3,902	A	継続して実施する。	学校教育課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	3	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	
施策	9	市の審議会等への女性の積極的登用	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 市の審議会等への女性の積極的登用	審議会等の女性委員の比率	50.0%	33.9%	政策・方針決定の場に男女が対等に参画し意見を反映させるため、「審議会等の設置及び公開に関する指針」を遵守するよう全庁に周知し、「審議会等への女性の登用推進方策」に基づく事前協議を行い、女性の積極的登用を促進した。	-	B	「審議会等の設置及び公開に関する指針」に基づき、女性の登用促進を図る。	企画調整課 人権啓発課
	女性委員のいない審議会等の数	0	1					

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	3	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	
施策	10	市の女性職員の職域拡大と管理職への積極的登用	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
2 市女性職員の管理監督職への積極的登用	管理監督者に占める女性職員の割合	40.0%以上	33.5%	能力実績主義を基本に「亀岡市人材育成基本方針」も踏まえ、定期人事異動における女性の管理監督職への登用を積極的に図った。	-	A	能力実績主義を基本に、適材適所の人事異動により、女性の管理職員の率を増加させる。	人事課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	3	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	
施策	11	学校運営体制における男女共同参画の推進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
3 学校運営における男女共同参画の推進 ※1	小学校（義務教育学校前期課程含む）における女性管理職の登用率	40.0%	50.0%	女性教職員の能力・意欲に基づき、管理職への登用を促進する。	-	-	-	教育総務課
	中学校（義務教育学校後期課程含む）における女性管理職の登用率	20.0%	7.1%					

※1 本施策については、京都市教育委員会の所管となるため、評価の対象とはせず、参考値として記載します。

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	3	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	
施策	12	企業・各種団体・地域活動における女性の意思決定の場への参画促進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
4 企業・事業所等への啓発・情報提供	企業における人権講座開催回数	年1回以上	年1回	○市内企業・事業所の経営者（雇用者）に対して、女性の職域拡大、管理職への登用、女性能力開発のための研修機会の拡充を図るための啓発、情報提供を行った。	0	A	引き続き市内企業・事業者に対して情報提供を行うことで人権意識の向上に努める。	商工観光課
	ポジティブ・アクションに向けたチラシ配布回数	年1回以上	年1回	○人権研修会の開催案内を企業に対し行うことで、積極的な参加を促した。				
5 ゆう・あい地域講座の開催	ゆう・あい地域講座でのアンケート結果「男女共同参画の意識が高まった」の割合	80.0%以上	60.2%	河原林町自治会、篠町自治会、保津町自治会でゆう・あい地域講座を開催し、LGBTQ+の基本的な知識など男女共同参画について啓発を行った。	70	B	身近なテーマから男女共同参画について考える講座を継続して実施する。	人権啓発課
6 地域活動等あらゆる分野における、意思決定の場への女性の参画促進	-	-	自治会連合会人権研修として、「LGBTQ+」について学習する中で、ジェンダー平等にも言及し、意思決定の場への女性参画促進の意識付けを行った。	男女がともに住みよいまちづくりを進めるために、女性の意思決定の場への参画促進等について、各自治会へ声掛け等を行った。	0	A	自治会に対して地域づくりやまちづくり等あらゆる分野における意思決定の場への女性の参画促進について意識付けを随時行う。	自治防災課
	女性農業委員数	10人	4人	○女性委員が総会、耕作放棄地調査、研修交流会等に積極的に参加するよう促した。 ○「農業委員会だより」の編集に女性委員に参画するよう促した。（年1回発行） ○地域の農業に関する課題等解決についても積極的に関わるよう促す。	70	B	継続して女性委員の参画を図る。	農業委員会
	-	-	4人	審議会委員の改選に当たっては、各団体に女性委員の推薦を積極的に依頼した。	282	A	次期改選に当たっても、各団体に女性委員の推薦を積極的に依頼する。	農林振興課
	-	-	7校で女性会長が選任されるなど、PTA運営に多くの女性役員の参画を得た。	社会教育関係団体等に対して啓発資料等を配布し、女性の意思決定の場への参画を促進した。	-	A	性別にとらわれることなく活動できるPTAとなるよう事務局とともに進めていく。	社会教育課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	3	政策・方針決定の場への女性の参画の促進	
施策	13	ポジティブ・アクションの推進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
7 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)についての啓発・情報提供	ポジティブ・アクションについて情報提供を行う回数	年1回	年1回	審議会等への女性の登用推進方策について、ホームページ等を利用して情報提供を行った。	-	A	ポジティブ・アクションの趣旨についてわかりやすい啓発・情報提供に努める。	人権啓発課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	4	就労の場における男女共同参画の推進	
施策	14	雇用の場における男女共同参画の促進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 男女雇用機会均等法など労働関連の法律や制度の周知	企業における人権講座開催回数	年1回以上	年1回	○市内企業・事業所の経営者(雇用者)に対して、女性の職域拡大、管理職への登用、女性能力開発のための研修機会の拡充を図るための啓発、情報提供を行った。	0	A	引き続き市内企業・事業者に対して情報提供を行うことで人権意識の向上に努める。	商工観光課 人権啓発課
	ポジティブ・アクションに向けたチラシの配布回数	年1回以上	年1回	○人権研修会の開催案内を企業に対し行うことで、積極的な参加を促した。				

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	4	就労の場における男女共同参画の推進	
施策	15	農林業・自営業における男女共同参画の推進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
2 第3次亀岡市元気農業プランの推進	ふるさと料理塾開催回数	年5回	年4回	朝市や加工グループ等への男女共同参画の推進をするために、情報提供等を行い支援した。伝統食、郷土食等の保存・継承・啓発活動を行う中で、性別問わず参加者を募り、男女共同参画の推進を行った。	202	A	令和5年度夏季開催から「食」にひと手間講座として開催しており、今後も継続して実施する。性別を問わず参加を募り、男女共同参画の推進を行う。	農林振興課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	4	就労の場における男女共同参画の推進	
施策	16	多様な就業機会の確保に向けた支援	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
3 男女雇用機会均等法など労働関連の法律や制度の周知(再掲)	企業における人権講座開催回数	年1回以上	年1回	○市内企業・事業所の経営者(雇用者)に対して、女性の職域拡大、管理職への登用、女性能力開発のための研修機会の拡充を図るための啓発、情報提供を行った。 ○人権研修会の開催案内を企業に対し行うことで、積極的な参加を促した。	0	A	引き続き市内企業・事業者に対して情報提供を行うことで人権意識の向上に努める。	商工観光課 人権啓発課
	ポジティブ・アクションに向けたチラシの配布回数	年1回以上	年1回					
4 小学校給食の提供	-	-	100%	市内小学校14校及び義務教育学校(前期課程)2校の学校給食の提供を行った。	202,449	A	栄養バランスに配慮した学校給食の提供を行う。	学校給食センター

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	4	就労の場における男女共同参画の推進	
施策	17	能力発揮のための学習機会の提供・情報提供	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
5 エンパワーメント・スキルアップ講座の開催	エンパワーメントセミナー・スキルアップセミナーの開催回数	年2回以上	年2回	○エンパワーメントセミナーは自己肯定感を高めるためのヒント～自分を受け入れるとは?～をテーマに開催した。 ○スキルアップセミナーはスマートフォンを使った動画作成をテーマに開催した。	118	A	男女共同参画推進を妨げる男女の固定的な性別役割分担意識の変革を促すため、多くの人に参加いただける身近なテーマで講座を開催する。	人権啓発課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	5	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できる環境づくり	
施策	18	男女が子育て・介護を担える環境づくり	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方の促進	企業を対象としたイクボス講座の開催回数 ----- 家庭生活において男女が平等であるという意識	年1回 40.0%	年1回 35.3%	○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマにイクボス講座を開催した。 ○男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。	40	B	多くの企業にも参加してもらえるよう、継続的にイクボス講座を実施し、男女平等意識の向上に繋げる。	人権啓発課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり 【女性活躍推進計画】
重点プラン	5	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できる環境づくり
施策	19	総合的な子育て支援

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
2 保育サービス	-	-	-	保護者の就労形態や勤務時間帯の多様化によるニーズに対応するため、一時保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育の実施による子育て支援を行う。	102,297	A	引き続き、保護者の多様化する保育ニーズに対応する子育て支援を行う。	保育課
3 地域ぐるみの子育て支援	-	-	ファミリーサポート会員数 1,155人	子育て家庭の孤立化や負担感の解消を図るため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業を展開する中で、親子の居場所づくりや子育て情報の発信・提供、育児不安等への相談対応を行うとともに、ファミリーサポート事業を実施した。	45,792	A	引き続き、利用者に寄り沿った相談支援等を行うとともに、ファミリーサポート事業の会員確保やニーズに応じた適切な援助活動につながるよう努める。	子育て支援課
4 亀岡市放課後児童健全育成事業（放課後児童会）	-	-	入会児童数 1,410人 ※年間平均	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、働く世代の子育てを支援する施策の一環として、市内全校区においてかめおか児童クラブを開設した。	381,651	A	平日午後7時までの延長や土日祝日の開設等により、子育て支援を推進する。入会児童数の増加に対応できるよう、開設場所や人材を確保し、保育環境の向上に取り組む。	社会教育課
5 亀岡生き物大学	親子活動の場の提供回数	年20回	年25回	亀岡の豊かな自然の中での親子活動を通じ、性別にとらわれない学びの場を提供した。	1,200	A	親子や参加者同士でペアを組むなどお互いを尊重し活動できるような事業を行っていく。Circular Kameoka Labを活用した事業を行っていく。	環境政策課
	親子活動の参加者数	1,000人	767人					

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり 【女性活躍推進計画】
重点プラン	5	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できる環境づくり
施策	20	男女がともに豊かな高齢期をおくる条件整備

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
6 亀岡市さわか教室	-	-	男女共同参画に関する講座を4回開催した。	高齢者が地域社会の一員であることの自覚を持ち、自らの生きがいのある人生を目指し、その時代にふさわしい社会的能力を伸ばすため、教室を開催し、学習機会や交流の機会を提供した。	501 (全体額)	A	男女ともに豊かな高齢期をおくるために必要な知識を得るとともに、日々の生活や家庭及び地域社会で活かすことができるような学習機会の提供を行う。	社会教育課

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	5	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できる環境づくり	
施策	21	家庭における男女共同参画の啓発	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
7 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方の促進（再掲）	企業を対象としたイクボス講座の開催回数	年1回	年1回	○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマにイクボス講座を開催した。 ○男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。	40	B	多くの企業にも参加してもらえるよう、継続的にイクボス講座を実施し、男女平等意識の向上に繋げる。	人権啓発課
	家庭生活において男女が平等であるという意識	40.0%	35.3%					

基本目標	2	誰もが働きやすく活躍できる環境づくり	【女性活躍推進計画】
重点プラン	6	ハラスメント防止に向けた取組の実施	
施策	22	職場におけるハラスメント防止対策の推進	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 ハラスメント防止のための啓発	ハラスメント防止のための情報提供の回数	年1回以上	年3回	○ゆう・あいフォーラムで暴力防止についての展示や「お互いを大切にする」ためのメッセージを記入いただくパープルリボンメッセージ展を開催した。 ○DVをテーマにDV防止啓発講座を開催した。 ○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマとしてイクボス講座を開催した。	620	A	継続して、ゆう・あいフォーラムや講座を活用して、啓発を行う。	人権啓発課
2 セクシュアル・ハラスメント等防止のための市職員研修の充実、相談体制の確立	セクシュアル・ハラスメント防止のための市職員研修の実施回数	年1回	年1回	○セクシュアル・ハラスメント防止のための情報提供を行った。 ○セクシュアル・ハラスメント防止のための職員研修を行った。（係長級112人） ○相談窓口を中心とした体制の整備・確立	-	A	市職員としての責任や役割の再認識を徹底し、ジェンダーをはじめとする人権意識の一層の向上を図る。	人事課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	7	男女の視点を取り入れた市民活動・地域防災活動の推進
施策	23	地域活動における男女共同参画の推進と市民団体・地域団体の活動への支援

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 ゆう・あいセミナーの開催(再掲)	ゆう・あいセミナーの開催回数	年2回以上	年3回	○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマにイクボス講座を開催した。 ○DVをテーマにDV防止啓発講座を開催した。 ○スマートフォンを使った動画作成をテーマにスキルアップセミナーを開催した。	192	A	多くの市民に参加してもらえよう、世間で話題になっている身近なテーマで講座を実施するとともに、広く情報が行き渡るよう広報を工夫する。	人権啓発課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	7	男女の視点を取り入れた市民活動・地域防災活動の推進
施策	24	地域社会を巻き込んだ男女共同参画の周知と普及、啓発の強化

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
2 ゆう・あい地域講座の開催(再掲)	ゆう・あい地域講座でのアンケート結果「男女共同参画の意識が高まった」の割合	80.0%以上	60.2%	河原林町自治会、篠町自治会、保津町自治会でゆう・あい地域講座を開催し、LGBTQ+の基本的な知識など男女共同参画について啓発を行った。	70	B	身近なテーマから男女共同参画について考える講座を継続して実施する。	人権啓発課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	7	男女の視点を取り入れた市民活動・地域防災活動の推進
施策	25	男女双方の視点等に配慮した緊急時対応

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
3 災害時における避難所の運営及び物資の確保	避難所開設要員に対する周知回数	年1回	年1回	令和6年6月25日に説明会を開催し、生理用品の充実やプライベートルーム等によるプライバシーの確保に努めるとともに、避難所開設要員に男女双方の視点に配慮できるよう周知を行った。	0	A	男女双方の視点に配慮した避難所運営が実施できるよう、今後も周知を図っていく。	自治防災課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	7	男女の視点を取り入れた市民活動・地域防災活動の推進
施策	26	女性グループ・ネットワークづくりへの支援

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
4 男女共同参画 の実現を目指した 市民活動への支援	KYISS登 録団体への情 報提供回数	年1回以上	年4回	情報提供として、ゆ う・あいフォーラム やゆう・あいセミ ナーのチラシ、ゆ う・あいプラン2021 の配布を行った。	-	A	継続して、ゆう・ あいフォーラムや セミナーの情報発 信をする。	人権啓発課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	8	多様な立場の困難を抱えた人々への支援
施策	27	社会的に不利な状況にある人々への支援

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 ひとり親家庭 への支援	-	-	-	ひとり親家庭の自立 と生活の安定のため、 日常生活を支援する各 種制度の周知や、就労 支援・経済的支援等に 向けた事業を行う。	8,362	A	引き続き、多様な状 況にあるひとり親家 庭に対する各種制度 の周知や支援を実 施していく。	子育て 支援課
2 単身高齢者や 高齢世帯への支援	-	-	緊急通報装置 182台 福祉電話貸与 0件 敬老乗車券販売 2,000冊	単身高齢者や高齢者 世帯の日常生活を支 援するための事業や 社会的孤立のない環 境づくりを行った。	緊急通報装置 1,597 福祉電話 0 敬老乗車券 9,600	A	福祉サービスの内 容を周知するため、 広報の活用やガイ ドブックの作成を行 い、必要な方にサ ービスが提供でき るよう繋げていく。	高齢福祉課
3 障がいのある 人への支援	-	-	-	性別にとらわれず、 障がいのある人の自 立と生活の安定ため 、日常生活や社会参 加を支援する事業を 行った。	-	A	今後も継続して実 施する。	障がい 福祉課
4 ひとり親家庭 相談	-	-	相談件数 313件	母子・父子自立支援 員を配置し、ひとり 親家庭の自立と生活 の安定に向けた相談 対応・助言を行った。	2,813	A	内容が複雑・多様 化する中で、一人 ひとりに寄り添っ た相談対応・助言 をすべく、適切な 相談対応が実施可 能な体制の継続・ 充実する必要がある。	子育て 支援課
5 高齢者への相 談事業	-	-	7箇所	身近な相談窓口であ る地域包括支援セン ターによる相談支援 体制の充実を図った。	127,255	A	日常生活圏域すべ てに地域包括支援 センターを設置。	高齢福祉課
6 障がいのある 人への相談事業	-	-	-	性別に捉われず、障 がいのある人の特性 に応じた相談支援体 制の充実を図った。	19,228	A	今後も継続的な相 談体制を維持す る。	障がい 福祉課
7 家庭児童相談	-	-	相談件数 373件	家庭児童相談室に家 庭相談員を配置し、 子どもや家庭におけ る子育て等の問題や 悩みについて、相談 対応・助言を行った。	24,911	A	相談員数を確保 し、支援体制を整 えた上で、引き続 き相談対応・助言 を行う。	こども 家庭課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	8	多様な立場の困難を抱えた人々への支援
施策	28	国際交流事業における男女共同参画の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
8 国際交流事業における男女共同参画の推進	国際交流事業における男女共同参画に関するチラシ等の配布回数	年1回以上	年1回	文化や生活様式、風土等との違いを超えた国際理解や多文化共生社会の実現に向け、世界各国の文化や歴史、言語、風土、生活様式を紹介する事業を行った。	0	A	国際交流協会主催の外国人住民との交流イベントにおいて、男女共同参画社会への理解度と意識を高められるよう、チラシ等を配布して市民の方に周知していく。	秘書課
9 外国人住民への支援の充実	-	-	-	在住外国人の支援を担うかめおか多文化共生センターを拠点として、相談業務や言語サポーターの登録を行い、外国人住民への支援体制を充実させる。	4,000	A	亀岡市在住の外国人の方々が安心して暮らしていけるよう、相談しやすい環境づくりを進める。	秘書課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	9	生涯にわたる健康の保持と促進
施策	29	ライフステージに応じた健康づくりへの支援

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 保健サービス事業	-	-	健康教育 19回380人 健康相談 9回448人	健康づくり情報の提供や、健(検)診、相談、予防接種等の実施により、主体的に生涯を通じた健康づくりに取り組むよう支援する。	1,049	A	特に無関心層への効果的な啓発方法を検討し、事業の充実を図る。	健康増進課
2 妊娠期の支援	-	-	パパママ教室12回実施(妊婦87人、家族87人)	男女がともに妊娠・出産・子育てにかかわれるよう、父母ともに参加でき、体験や交流等を取り入れた教室を行う。	5	A	体験型、参加型の教室を継続していく。	こども家庭課
3 生涯スポーツ社会の推進と充実	スポーツ大会(市及びスポーツ協会主催事業)等の参加人数	18,000人	28,681人	○児童期の子どもに対し、色々な種目のスポーツに親しめる機会を提供した。 ○青年期以降の全ての市民に対し、自主的なスポーツライフの実現に向けたサポートを推進した。 ○障がい者、高齢者に対し、スポーツプログラムに取り組む機会を提供した。 ○市内のスポーツ施設を整備・拡充し、スポーツ環境の質を高めた。	27,830	A	市民が誰でも気軽に参加できる。事業を実施するうえで、実施内容が参加者のニーズに合った内容となっているか検討が必要である。	生涯スポーツ課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	9	生涯にわたる健康の保持と促進
施策	30	女性の健康を脅かす問題についての対策の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度 以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
4 心身の健康と安全に関わる教育の充実(再掲)	-	-	-	○学校教育の中で発達段階に応じ、喫煙・飲酒についての健康被害やH I V / エイズ、性感染症、薬物乱用の有害性などに関する正確な知識・情報の提供を行った。また、健康な身体づくりを支援できる取り組みを進めた。さらに、食に関する正しい知識の普及啓発を図るため、食育の推進に努めた。 ○発達段階に応じた喫煙・薬物乱用防止及び性教育等の実施 ○収穫や料理など体験を通じた食育の普及啓発	3,902	A	継続して実施する。	学校教育課
5 性と生殖の健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する学習機会の提供	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて情報提供を行う回数	年1回	年1回	○「女性に対する暴力をなくす運動」期間に啓発活動を行った。	77	A	継続してセミナーや「女性に対する暴力をなくす運動」期間を活用して、情報提供を行う。	人権啓発課

基本目標	3	あらゆる差別のない地域づくり
重点プラン	10	LGBTQ+への理解促進と支援
施策	31	LGBTQ+の人への社会的理解の促進に向けた啓発

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 LGBTQ+の理解促進	LGBTQ+に関する情報提供回数	年1回以上	年7回	○6月にプライド月間啓発事業を開催し、トークイベントとワークショップを通じて、理解促進を図った。 ○7月と12月にコミュニティスペース（京都まあぶるスペース）を開催し、交流の場を設けることで理解促進を図った。 ○LGBTQ+の啓発ウェットティッシュを作成し、ゆう・あいフォーラムにて配布することで啓発に繋げた。 ○ゆう・あい地域講座（計3自治会）にて講演を行い、理解促進を図った。	282	A	多くの市民が参加する催しの場や講座などで、身近にLGBTQ+について考えてもらえるよう内容を工夫する。	人権啓発課
2 パートナーシップ宣誓制度の実施	-	-	年1回	令和3年3月からパートナーシップ宣誓制度を開始し、京都府下においては5自治体間で連携を行っていたが、令和5年度には大阪府、兵庫県との都市間連携が決定した。その後、令和6年11月からは全国的に都市間連携を拡大している。利便性の向上とあわせて性の多様性の理解を広め、当事者の生きづらさの解消に取り組んだ。	0	A	パートナーシップ宣誓制度の周知や利用しやすい環境づくりを継続的に実施していく。	人権啓発課

基本目標	4	あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくり	【DV対策基本計画】
重点プラン	11	暴力に気づき、暴力をふるわない、許さない意識づくり	
施策	32	女性に対する暴力を根絶するための基盤づくり	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 ゆう・あいセミナーの開催(再掲)	ゆう・あいセミナーの開催回数	年2回以上	年3回	○働きやすい職場づくりのためにできること～世代間ギャップをうめるコミュニケーションのヒント～をテーマにイクボス講座を開催した。 ○DVをテーマにDV防止啓発講座を開催した。 ○スマートフォンを使った動画作成をテーマにスキルアップセミナーを開催した。	192	A	多くの市民に参加してもらえよう、世間で話題になっている身近なテーマで講座を実施するとともに、広く情報が行き渡るよう広報を工夫する。	人権啓発課
2 暴力を根絶するための広報・啓発活動の推進	女性に対する暴力をなくす運動の街頭啓発の実施回数	年1回以上	年2回	○ゆう・あいフォーラムで暴力防止に関する展示及び啓発物品の配布を行った。 ○DV防止啓発講座を実施した。	77	B	継続して、ゆう・あいフォーラムやセミナーを通じて啓発をしていく。	人権啓発課
	配偶者等における暴力防止法の認知度	90.0%	77.8%	○男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。				

基本目標	4	あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくり【DV対策基本計画】
重点プラン	11	暴力に気づき、暴力をふるわない、許さない意識づくり
施策	33	配偶者等からの暴力への対策の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
3 緊急時の対応 マニュアルの整備	-	-	-	被害者からの相談や関係機関からの通報による緊急時に、即時に対応できるよう、対応マニュアルの整備を行う。	-	A	女性の相談ネットワーク会議で共有し、連携強化につなげていく。	人権啓発課
4 被害者の自立 に向けた支援	-	-	措置人数 10世帯23人	児童とその児童を養育する女性の保護が必要な場合に、母子生活支援施設への入所により、母子の保護と自立を支援する。	33,443	A	母子生活支援施設への入所後に関しても、密な支援を行うことで、自立に向けた支援へも重きを置き対応する。	こども 家庭課
5 被害者情報の 保護	-	-	実施	各種手続きを行う窓口等において、被害者等やその関係者の情報の漏えいを防ぐため、情報管理を徹底するとともに、住民基本台帳の閲覧制限等、被害者の情報を保護し、安全を確保する取組みを行った。	0	A	引き続き被害者及びその関係者の居所等の情報の漏えいを防止するための取組みを継続する。	市民課
施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
6 DV被害者等の市営住宅への入居	-	-	市営住宅の入居募集時、DV被害者世帯を対象に含む優先世帯向け募集を行った。	市営住宅の入居募集時、DV被害者世帯を対象に含む優先世帯向け募集を行った。また、空き部屋があり且つ緊急性の高いケースにおいて、DV被害者の市営住宅への期限付き入居を承認（地方自治法及び亀岡市財務規則における行政財産の目的外使用）し、DV被害者の生活の安定と自立の支援を行った。	-	A	継続して実施する。	建築住宅課
7 児童虐待への適切な対応	-	-	要保護児童対策 地域協議会 実務者会議 6回開催	児童虐待の未然防止や早期発見に取り組み、子どもの安全確保の対応や被虐待児童の自立支援や家庭支援等を、関係機関との緊密な連携のもと、迅速・的確に行う。	27,356	A	会議の開催のみならず、関係機関に対し研修や啓発に向けた勉強会等を実施し、さらなる連携体制の構築を図る。	こども 家庭課

基本目標	4	あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくり	【DV対策基本計画】
重点プラン	12	DV被害者への相談や支援の強化	
施策	34	相談体制の充実と連携の強化	

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 女性の相談室	-	-	-	女性の相談室の実施 ○一般相談(週5日) 午前10時～午後4時 ○専門相談 ・フェミニストカウンセリング 年18回 ・法律相談 年18回	5,383	A	相談窓口の周知及び支援が必要な人を適切な相談窓口へつなぐための情報提供をしていく。	人権啓発課
2 女性の相談ネットワーク会議の開催	女性の相談ネットワーク会議の開催回数	年2回以上	年2回	○各相談機関における相談実績等についての情報共有及びDVの基礎知識についてのグループワークを行った。 ○被害者のさまざまな問題に対し支援を行うため、警察、保健・福祉、医療などの関係機関を対象にDV防止講座を開催した。	0	A	関係機関と連携強化するため、勉強会を開催する。	人権啓発課
3 人権相談	人権相談の実施回数	月2回	月2回	人権擁護委員による人権相談を実施する。また、人権相談のPRを図った。	0	A	引き続き人権擁護委員による人権相談を実施する。また、人権相談のPRを図る。	人権啓発課
4 被害者の自立支援に向けた関係機関との連携			年2回	各機関の担当者と連携し、相談者へ適切・迅速な対応ができるようにネットワーク会議を開催。情報の共有化など、総合的な支援体制の充実を図った。	0	A	継続的に関係機関との連携課題などを洗い出し、支援体制を充実させる。	人権啓発課
5 相談窓口の周知	「女性の相談室」を知っているという人の割合	50.0%	26.3%	○講座開催時に資料として相談室のパンフレットの配布を行った。 ○DV相談カードやリーフレットの活用、市ホームページなどで周知を図った。 ○男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。	41	B	講座やDV相談カード等を活用し、相談窓口の周知をしていく。	人権啓発課

基本目標	5	市民と行政の協働による男女共同参画の推進
重点プラン	13	男女共同参画の実効性の確保
施策	35	庁内連携による計画の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
1 男女共同参画推進員の任命	男女共同参画推進員会議の実施回数	年2回以上	年2回	男女共同参画の職場づくりに向け、職員一人ひとりの意識を高めるため、男女共同参画推進員会議の開催、ゆう・あいセミナーに推進員の参加を促し、研修の機会を提供した。	-	A	継続して、男女共同参画推進員会議の開催、ゆう・あいセミナーへの参加を促し、職員の意識を高めていく。	人権啓発課

基本目標	5	市民と行政の協働による男女共同参画の推進
重点プラン	13	男女共同参画の実効性の確保
施策	36	苦情処理のためのシステムづくり

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
2 苦情処理制度の運用	-	-	-	苦情の申し出の制度について、広く市民に周知するため、ホームページで広報した。 申し出件数 0件	-	A	継続して実施する。	人権啓発課

基本目標	5	市民と行政の協働による男女共同参画の推進
重点プラン	13	男女共同参画の実効性の確保
施策	37	計画の進行管理

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向 (改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費 (千円)	評価		
3 男女共同参画計画の実施計画の策定・進行管理	実施状況の点検評価達成率	A評価 90.0%以上	81.9%	計画を実効性のあるものにするため、実施計画を策定するとともに、定期的に実施状況の点検・評価を行い、計画の着実な進捗を図る。	-	B	意識調査及び実施状況等の結果を踏まえ、より一層、男女共同参画意識の浸透に向けた事業を実施していく。	人権啓発課

基本目標	5	市民と行政の協働による男女共同参画の推進
重点プラン	14	男女共同参画事業の周知
施策	38	男女共同参画条例の周知

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
1 男女共同参画条例の普及・啓発	亀岡市男女共同参画条例の認知度	50.0%以上	36.1%	○ゆう・あいフォーラムで条例について展示し、啓発を行った。 ○セミナーで男女共同参画条例のパンフレットを配布した。 ○男女共同参画意識の浸透を確認、分析、把握するため、令和6年度に意識調査を実施した。	-	B	ゆう・あいフォーラムやセミナーで周知を図っていく。	人権啓発課

基本目標	5	市民と行政の協働による男女共同参画の推進
重点プラン	14	男女共同参画事業の周知
施策	39	市民との協働による男女共同参画の推進

施策(制度・事業)名	2024(令和6)年度事業実績						2024(令和6)年度以降の事業の方向(改善点等)	担当課
	成果指標	数値目標	2024(6)年度実績	事業実施内容	事業費(千円)	評価		
2 地域活動、市民活動の拠点づくり	市民活動団体への男女共同参画に関する情報提供回数	年1回	1回	令和5年度に「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」または「ふるさと亀岡まちづくり応援交付金」を活用した団体の子育て支援事業等をホームページと施設での掲示により情報提供した。	-	A	継続して、男女共同参画に関する市民活動の情報を発信する。	市民力推進課
3 男女共同参画推進事業「ゆう・あいフォーラム」の開催	「ゆう・あいフォーラム」の開催	年1回	年1回	市民との協働により、「ゆう・あいフォーラム」を開催し、LGBTQ+についての理解を深めるための講演会や男女共同参画に関する展示やワークショップを行った。フォーラムを通じてグループや団体等のネットワークづくりを促進した。	503	A	市民と協働しながら、男女共同参画社会の啓発事業を実施し、団体とのネットワークづくりを引き続き促進する。	人権啓発課
4 男女共同参画の実現を目指した市民活動への支援(再掲)	KYISS登録団体への情報提供回数	年1回以上	年4回	情報提供として、ゆう・あいフォーラムやゆう・あいセミナーのチラシ、ゆう・あいプラン2021の配布を行った。	-	A	継続して、ゆう・あいフォーラムやセミナーの情報発信をする。	人権啓発課